

安全データシート

(SAFETY DATA SHEET)

1. 化学物質等及び会社情報


製 品 名 トーカスSi (To-Kasu Si) 2倍濃縮液
 該 当 色 番 ー
 会 社 名 株式会社 エービーシー商会
 住 所 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14
 担 当 部 門 無機建材事業部 / インサル事業部
 電 話 番 号 無機建材事業部:03-3507-7176 / インサル事業部:03-3507-7390
 FAX 番 号 無機建材事業部:03-3507-7178 / インサル事業部:03-3507-7352
 緊 急 連 絡 先 無機建材事業部:03-3507-7176(直通) / インサル事業部:03-3507-7390(直通)
 作 成 日 2008年 1月29日
 改 訂 日 2025年 1月15日
 推 奨 用 途 融雪剤
 使用上の制限 推奨用途以外使用については事前確認が必要
 国連番号／ID番号【詳細は14.を参照のこと】 UN 3266
 国連分類【容器等級】 クラス8【PG.Ⅲ】

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- 物理化学的危険性 : 該当しない
- 健康に対する有害性 : 下記参照
 - ◇急性毒性(経口) 【区分4】
 - ◇皮膚腐食性／刺激性 【区分2】
 - ◇眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 【区分1】
- 環境に対する有害性 : 該当しない

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル :  

- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 下記参照
 - 物理化学的危険性 : 該当しない
 - 健康に対する有害性 : 下記参照
 - ◇飲み込むと有害(経口)
 - ◇皮膚刺激
 - ◇重篤な眼の損傷
 - 環境に対する有害性 : 該当情報なし
- 注意書き : 下記参照

【予防策】

- ◇ (製造者／供給者または規制所管官庁が指定する)保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ◇ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ◇ 取扱い後は(手など)よく洗うこと。

【対応】

- ◇ 口をすすぐこと。
- ◇ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ◇ 皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
- ◇ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- ◇ 直ちに医師に連絡すること。
- ◇ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ◇ 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

- ◇ 施錠して保管すること。

【廃棄】

- ◇ 内容物／容器を(国際／国／都道府県／市町村の規則に従って)廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 不燃性であり、引火性、爆発性、酸化性、自然発火性はないが、アルカリ性のため、眼や皮膚に接触した場合や飲み込んだ場合に刺激性がある。

重要な徴候 : 知見なし

想定される非常事態の概要 : 知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質又は混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量(%)	化学式または構造式	官報公示整理番号	CAS No.
ケイ酸塩	5.0～ 15.0	—		非公開
炭酸カリウム	40.0～50.0	—	1-153	584-08-7
水	40.0～50.0	H ₂ O		

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診断／手当てを受けること。
- 最も重要な徴候及び症状 : 眼、皮膚に接触すると刺激がある。
- 応急措置をする者の保護 : アルカリ性のため、皮膚などに触れないように手袋などの保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 知見なし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : このもの自体は不燃性のため、必要としない。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 知見なし
- 特有の消火方法 : 知見なし
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は、眼、皮膚に付着しないように、8. に記載されている保護具を着用して行う。漏出した場所はすべりやすいので注意する。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域などに流出し、環境への影響を起こさないように注意する。漏出した場合は土のうなどで拡散を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
- 少量の場合 : 乾燥砂、土、おがくず、ウェスなどに吸収させてふき取ったものを密閉できる空容器に回収する。
- 多量の場合 : 土のうなどでかこって流出を防止し、ポンプなどでドラム缶やタンクにできるだけ回収する。
- 二次災害の防止策 : 知見なし

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い
- 技術的対策 : 眼、皮膚および衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 取扱う場合は、局所排気又は全体換気できる場所で行う。
- 注意事項 : 漏れ、あふれ、飛散しないように注意する。
- 安全取扱い注意事項 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
容器を転倒、落下させたり、衝撃を加えたり引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
- 保 管
- 技術的対策 : アルミニウム、亜鉛、すずなどの両性金属との接触を避ける。濃厚な酸を加えてはならない。
- 適切な保管条件 : 容器は直射日光をさけ、冷暗所に密閉して貯蔵する。空気との接触を避ける。
- 安全な容器包装材料 : 鉄やステンレスもしくはポリエチレン製の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設 備 対 策 : 局所排気、全体換気を行う。
- 管 理 濃 度 : 作業環境評価基準
設定されていない

許 容 濃 度 : 設定されていない

保 護 具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク
 手の保護具 : ポリエチレン製、ゴム製などの不浸透性の手袋
 眼の保護具 : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型の保護メガネ
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、ゴム製の長靴

適切な衛生対策 : 特になし

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 無色透明の液体
 臭い : 無臭
 pH : 11.5 ~ 12.0
 比重 : 1.20 ~ 1.24
 その他のデータ : データなし

※ 臭いのしきい(閾)値、融点／凝固点、沸点、引火点、自然発火温度、燃焼性、燃焼又は爆発範囲、蒸気圧、蒸気密度、蒸気速度、溶解性、オクタノール／水分配係数、分解温度、粘度については、データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件では安定 [通常条件:容器が密閉されている、常温で流通しているなど]
 危険有害反応可能性 : 酸と反応してゲルを生成する。
 フッ化水素酸とは激しく反応し、フッ化ケイ素ガスを発生する。
 濃厚な苛性アルカリとは激しく反応し、発熱する。
 避けるべき条件 : 濃厚な酸を加えてはならない。密閉して空気との接触を避ける。
 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属とは接触させない。
 混触危険物質 : フッ化水素、酸および、アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属
 危険有害な分解生成物 : 知見なし
 その他 : 知見なし

11. 有害性情報

【製品として】

急性毒性(経口) : 区分4
 皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分1
 その他の情報 : アルカリ性のため、眼や皮膚に接触した場合や飲み込んだ場合に刺激性がある。アルミニウム、亜鉛などの両性金属と反応して、可燃性のある水素ガスを発生する。

※GHS分類には、(独)製品評価技術基盤機構の結果を採用

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
 残留性・分解性 : 土壌中では容易に分解する。
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中の移動性 : 環境中では水に溶解し、容易に移動する。
 他の有害影響 : データなし ※GHS分類には、(独)製品評価技術基盤機構の結果を採用

13. 廃棄上の注意

残 余 廃 棄 物

廃 棄 す る 場 合 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。また、洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
 汚 染 容 器 ・ 包 装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を順守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号／ID番号 : UN 3266
 正式輸送品目名 : その他の腐食性物質 (アルカリ性、無機) [Corrosive liquid, basic, inorganic, n.o.s.]
 国連分類 : クラス 8 【腐食性物質】
 副次危険性 : 該当なし
 容器等級 : PG. III
 包装基準

海上輸送	: P001(小型容器)
航空輸送	: 818(旅客機), 820(貨物機のみ)
海洋汚染物質	: 非該当
国内規制	
陸上輸送	: 適用法令(道路法、消防法等)に該当する物質を含まないため、特に制限はない。
海上輸送	: 船舶安全法等に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法等に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 破損、損傷、容器からの漏れ、荷崩れなどの防止を確実に行う。取扱い及び保管上の注意に記載の内容に従うこと。
緊急時応急措置指針番号	: 知見なし

15. 適用法令

○労働安全衛生法【炭酸カリウムの情報として】

名称等を表示すべき危険物及び有害物(令和8年4月1日以降)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(令和8年4月1日以降)

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2 皮膚刺激性有害物質)

○航空法

施行規則第194条告示第2条別表第1

その他の腐食性物質

○船舶安全法

危険物船舶運送及び貯蔵規則第3条告示別表第1

その他の腐食性物質

○港則法

第12条別表

二 その他の危険物、口腐食性物質

16. その他の情報

□参考文献

A) 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)	日本化学工業協会	2008.10
B) GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック	日本塗料工業会	2006. 8
C) 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)	化学工業日報社	2006. 8
D) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253:2012	日本工業標準調査会	2012. 3
E) 化学物質総合検索システム	製品評価技術基盤機構	
F) 航空危険物規則書(第49版)	航空危険物安全輸送協会	2008. 1
G) 使用品のMSDSに記載の引用データを転用		

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等をもとに想定したもので、化学組成における含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正、新しい知見により内容が改訂される場合があります。全ての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。注意事項は、通常取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用をお願いします。